

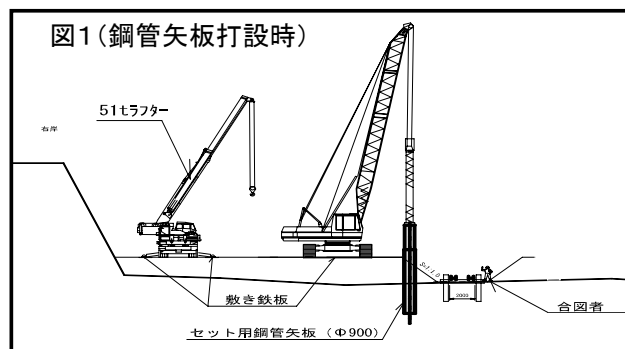
|             |                             |           |         |             |  |  |
|-------------|-----------------------------|-----------|---------|-------------|--|--|
| No. H20大豊-3 | 平成20年度                      | 四国山地砂防事務所 | 論文種類    |             |  |  |
| キーワード       | バックモニターカメラ 重機災害対策 クレーン災害対策等 |           |         |             |  |  |
| 論文名         | 護岸工事における安全対策について            |           | 株式会社 轟組 | 現場代理人:小谷 泰三 |  |  |

## ■工事概要

|      |                       |    |                                                                                              |
|------|-----------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工事名  | 平成20年度 南小川護岸工事        | 概要 | 基礎工鋼管矢板Φ800:23本打設、胴木:38m、コンクリートブロック張工:550m <sup>2</sup> 、ブロック積工:259m <sup>2</sup> 、仮栈橋:40.5m |
| 工事場所 | 高知県長岡郡大豊町落合           |    |                                                                                              |
| 工期   | 平成20年7月26日～平成21年3月31日 |    |                                                                                              |

## ●安全対策の目的・課題

当現場は、河川内の限られた空間で作業ヤードを造成し、自立式鋼管矢板の打設時(図1)の大型重機(50tラフタークレーン、70tクローラークレーン、0.8m<sup>3</sup>バックホウ)作業や、護岸工施工時の狭小なスペースでの大型重機(0.8m<sup>3</sup>バックホウ、20tタイヤローラー)作業など、作業員と重機との輻輳作業が多くなるため、『重機による災害防止』を目的とし、安全管理としては、日々の人員配置や重機配置計画の作成等が重要な課題となっている。



写1(確認標示)

## ●安全対策の特徴・着眼点

- 1、朝礼、KY活動時にクレーン・重機及び人員の配置計画の周知徹底
- 2、大型重機の死角低減
- 3、クレーン作業による災害の防止
- 4、降雨等による土砂災害防止

## ●取り組み概要

朝礼時に作業内容と安全注意事項を全員で共有し、KY活動時に各自の作業分担と重機の配置計画を作成しながら、危険リスクの低減に努める。

- ・大型重機の動作時の、上下・前後・左右の確認のためのステッカーを貼付。(写1)
- ・大型重機の後方の死角を低減するため、バックモニターカメラを設置。(写2, 3)
- ・クレーン作業時の風速確認のため、吹流しと目安を表す表示板を設置。(写4)
- ・高所での玉掛作業を防止するため、コラムロックを使用。(写5)
- ・玉掛ワイヤー点検時の時間短縮や個人差を防止するためゲージを購入。(写6)
- ・土石流災害防止として、雨量計及び雨量警報装置を設置。(写7)



写2(バックモニターカメラ)



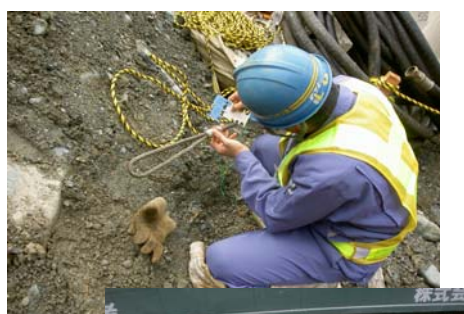
写3(運転席画面)



写4(吹流し)



写5(コラムロック)



写6(ワイヤーゲージ)



写7(雨量警報システム)

